

令和5年度 数学科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業でプリントを使用したり、家庭学習の課題を設けたりすることにより、各学年とも基本的な計算力や数の性質への理解が身に付いている。
- ・タブレットを活用するなど生徒の活動を工夫することにより、数学に対する興味関心が高まったと考えられる。

(2) 課題

- ・問題解決などにおいて、粘り強く考え、その過程を振り返ったり、考察を深めたりする過程に課題があると考えられる。授業を通して、既習の内容を基に数量や図形の性質を見だし、考察し、活用していく力を養っていく必要がある。
- ・身の回りの事柄を、数学を用いて解決する姿勢を身に付けられるよう、タブレット等のICT機器を有効に活用していく必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	基礎・活用ともに目標値を上回った。	基礎・活用ともに目標値を上回った。	/
第2学年	基礎・活用ともに目標値を上回った。	基礎・活用ともに目標値を上回った。	基礎・活用ともに目標値を上回った。
第3学年	基礎・活用ともに目標値を上回った。	基礎・活用ともに目標値を上回った。	基礎・活用ともに目標値を上回った。

(2) 分析（観点別）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	小数同士の計算、中央値・最頻値の読み取りに課題がある。	データの活用についての平均・場合の数に課題がある。	図形について、特に平面図形の知識の定着が十分に図れている。
第2学年	分数同士の除法、反比例のグラフの読み取りに課題がある。	全体的に目標は上回っているものの、図形についての空間図形の内容にやや課題がある。	目標値をやや下回るものもあるが、1次方程式やデータの散らばりと代表値では目標値より高い結果となった。
第3学年	1次関数のグラフについて、直角三角形の合同条件に付いての知識に課題がある。	連立方程式や箱ひげ図の問題の読み取りに課題がある。	目標値は上回っているが、連立方程式や関数の応用問題への取組に課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	小数や分数が含まれる基本的な計算について、苦手意識のある生徒が多いので、プリントやタブレットドリルなどを活用して計算練習を行い、技能の定着を図る。	問題の解の求め方を復習するだけでなく、授業の中で解き方の根拠を考えたり、他者に説明したりする活動を通して、理解を深めていく。	習熟度別授業において、各コースの課題に応じて基礎・基本の定着や問題を筋道立てて解決する力を養っていく。
第2学年	小数・分数の計算練習や、比例・反比例の復習し、基礎の定着を図る。プリントやタブレットを用いて、より一層の能力の伸長を図る。	習熟度別少人数学習を活かし、習熟度に応じた適切な問題を選び、生徒の様子を見ながら細かく指導していく。	基礎・基本の定着を図り、小テスト等を行うことで、自分の苦手な部分を理解し、克服していくことで、意欲的に学習に取り組ませる。
第3学年	タブレットや総復習の問題集を用いて、問題数を多く解くことにより、基礎基本の定着をより一層図っていく。	問題の求め方を復習してだけでなく、解き方の根拠を考えたり、他者に説明したりすることを授業の中で取り組んでいき、理解を深めていく。	習熟度別少人数学習を活かし、習熟度に応じた適切な問題を選び、問題が解けたり、苦手な問題を理解してしたりして、達成感を得ていくことで、さらに意欲的に学習に取り組ませる。